



病院長からのメッセージ 「勤務医の過重労働」

病院長 泉 良平

勤務医は過重労働となっているといわれます。この問題は、医療提供システムの変化と勤務医不足がその要因として考えられます。

新臨床研修制度によって研修医が大都市部に集中し、若手医師の研修病院であった大学病院の医師が減りました。独立行政法人となった国立大学病院は医業利益を求められ、医師確保のため地方の病院に派遣していた医師を大学病院に引き上げました。勤務医が減り、医師過重労働に拍車がかかりました。

医療は進歩し、専門分化した知識を習得した医師が必要となってきました。例えば、内科には、循環器科、消化器科、呼吸器科、血液内科、腎臓内科、糖尿病など多くの専門医療を担う医師がいます。医師数は、30年前に比べ増えましたが、1人の患者さまに多くの専門医が必要となってきました。また、内科・小児科という看板を掲げる診療所が以前は多くあり、医師は大人も子供も診療していました。しかし、少子化の影響からでしょうか、多くの親は小児科医に子供の診察を求めるようになってきました。少ない病院の小児科医が夜間も休息することなく診療すれば、過重労働に陥ってしまいます。より専門的な医療を求めるといように、市民の皆様の心理状態は変化してきたのではないのでしょうか。

日本病院会が行った全国の勤務医5635人のアンケート集計結果が本年3月に報告されました。1週間の勤務時間調査では、法定勤務40時間を超えて勤務している医師が96%おり、23%の医師は64時間以上の勤務を行っています。勤務時間は以前よりも増えたという医師は、38.5%にのぼり、減ったと言う医師は16.1%に過ぎません。何故、増えたのかという質問には、患者数や診療時間が増えた、書

類を書く時間が増えた、会議などが増えたという意見が56～66%にみられました。

1人の患者様の診療にかける時間が長くなっています。治療内容や手術などを理解していただくには丁寧な説明が必要です。「お任せ」ではなく十分な説明のもとで同意を頂く必要があります。説明には長時間を要します。書類による同意も頂かねばなりません。このため、医師の診療時間は長くなってきています。一方、救急患者様が増加しています。救急当番日には、大変多くの患者様が病院を訪れ、医師・看護師は休息するひまもなく夜を徹して働くこととなります。

医療は、いま、激動期にあります。病院機能の分化や効率的で安心な医療の提供が求められ、病院は変化を求められています。病院は機能評価を受け改善していますが、そのための会議が増えています。医師は、医療行為だけではなく、病院機能の改善にもその力が求められます。

医療の進歩と、医療に対する意識の変化が医師の働く時間を長くしています。そして医師を増やせないため、医師は過重労働を余儀なくされています。病院と診療所との機能を分け、かかりつけ医などで先ず治療を受けていただき、必要があれば紹介されて病院で治療をうけていただければ、勤務医の過重労働の軽減につながります。また、専門的な知識を持った看護師に医師の補佐的役割を果たしてもらうこと、書類整理に事務クランクなどを活用することなどが勤務医の過重労働を軽減する方法として考えられます。医師の過重労働が軽減されれば、疲れた医師の診療を受けることなく、より安心な医療を受けていただくことができるようになると思います。

目次

■病院長からのメッセージ 「勤務医の過重労働」 病院長 泉 良平	1
■部門紹介 中央放射線部 放射線技術科②	2
■連載 健康レシピ⑤ 栄養科 「すいかのスープ」	3
■連載 病院川柳 「17文字メッセージ」	3
■お知らせ 外来診療の受付時間のご案内	4
■連載 医事課 診療費の公費助成制度① 「不妊治療費助成制度」	5
■院長への手紙 ご意見とお答え	5
■イベント さんぽ図書館利用者5000人達成 高校生一日看護見学	6
■連載 ボランティア・エッセイ37 「地球温暖化」とは 病院ボランティア 石森貞夫	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8
■編集コラム	8



ふれあいギャラリー
「マイフェアレディー7」朝顔展
(中村 勇さん)

部門紹介

中央放射線部 放射線技術科(2)

今回は放射線技術科の紹介の2回目になります。CT、MRI、核医学検査の部門を紹介します。

《CT検査》

CT検査は、装置の中心に人体を入れ、向かい合ったX線発生装置と検出器を回転させ、体内の様子を細かく撮影します。

当院には現在、検出器が16列並んだCTが2台稼動しています。以前のCTは検出器が1つでしたが、検出器が増えたことで短時間に細かいデータがたくさん収集できるようになりました。これにより上腹部(みぞおち～へそまで)の撮影において30秒程の息止めが必要でしたが、15秒程度の息止めで済むようになり患者様の負担も軽減されました。また撮影能力、画像処理能力ともにアップしたことにより、検査待ち時間の短縮や急患の撮影にも威力を発揮しています。また細かく撮影された画像データを利用して3D(立体画像)やMPR(多方向断面)を作成することにより、今まで以上に正確な血管情報や微細な病変が描出可能になり、手術計画にも役立っています。



《MR I 検査》

強力な磁場の中にある物質に電波を照射すると、物質の種類によって違う信号を出します。この現象を磁気共鳴と言い、人体から放出される信号を受信し組織の違いを画像にしたのがMR Iです。MR Iは放射線を使用しない検査なので被ばくはありません。また造影剤を使用せずに血管を描出できるので脳ドックにも適しています。検査時間は検査部位にもよりますが20～40分程度かかります。

MR I 検査は非常に強力な磁石に入って検査を受けていただくので、検査室には金属などは持ち込めません。時計、ネックレス、金具の



MRI検査を受けられない場合

- 心臓ペースメーカーや刺激電極などを身に着けている方
- 体内に脳動脈クリップや人工関節などの金属が埋め込まれている方
- 検査中に一定の姿勢が保てない方
- 閉所恐怖症など、狭い所が苦手な方
- 妊娠初期、または妊娠している可能性がある方

ついた衣服、磁気カードなどを外していただき、検査用のガウンに着替えていただきます。また表のような方はMR I 検査を受けられないことがあります。

その他、検査について不明な事がありましたら担当者にお尋ねください。



《核医学検査》

(R I : アイソトープ検査)

一般的に放射線検査は体外からX線を照射し、透過したものを画像とします。核医学検査では、口から摂取・吸入あるいは静脈注射した体内の放射性の薬品より放射される微量のガンマ線(X線とよく似た性質を持っている放射線)を高感度のカメラ(ガンマカメラ)で撮影する検査です。放射性医薬品には30種類以上あり、検査部位によってそれぞれ異なります。全身の炎症や腫瘍を調べたり、骨・心筋・脳・腎などを検査します。また投与された放射性医薬品は一時的に体内に留まりますが、短期間でガンマ線の放出量が減衰する物質なので、自然排泄とあわせると早期に体内より消失し被

ばくによる影響はほとんどありません。急に、検査をキャンセルされた場合には、高額な薬品を使用できない場合があり苦勞しています。撮影された画像はそのまま形態を見るだけでなく、コンピュータを用い断面を作ったり、目的臓器の機能を調べたりもします。



連載 健康レシピ⑤

「すいかのスープ」 (栄養科)



この時期、夏バテして食が細くなりがちの方は、身体の熱を冷まして体力を補う薬膳料理で乗り切りましょう。すいかには身体の熱を冷ます作用があり、生姜と一緒に取ると、胃腸の働きを活発にしてくれます。温かきままでも、冷やして食べても、おいしく食べられるスープです。



作り方

- ① タマネギはみじん切りに、にんじんは5mm角、すいかは1cm角に切っておく。
- ② 鍋に水を入れ、おろししょうが、コンソメを溶かし、にんじん、タマネギを入れて、火が通るまで煮る。
- ③ にんじんに火が通ったら、すいかを入れ、弱火で約2～3分煮る。
- ④ 塩で味をととのえる。

材料(4人分)

すいか	160g
玉ねぎ	1個
にんじん	1/3本
水	500cc
固形コンソメ	1個
塩	少々
おろし生姜	少々

★栄養Q&A

日頃よく耳にしたり目にしたりする栄養や食品に関する疑問にわかりやすくお答えします。

Q：暑い夏に食べる“すいか”には、どのような効果がありますか？

A：「すいか」はその90%以上が水分で、残りの10%近くが糖分ですが、ビタミンやミネラルなどが豊富に含まれ、体の水分調節に有効です。

①体のむくみ予防に…アミノ酸の一種のシトルリンという利尿作用の強い成分が含まれているので、体のむくみを取る効果があります。

②高血圧の予防に…カリウムが、尿と一緒に余分な塩分などを排泄してくれる為、血圧を下げる効果があるといわれています。また、カリウムは疲労した筋肉をすばやく回復させてくれます。

③体温調整に…すいかの水分は体温を下げ、体のほてりを冷ましてくれます。また、脱水症状の予防にもなります。

美味しくて体に良い効果があるすいかですが、食べ過ぎるとお腹がゆるくなりやすいので、注意しましょう。また、デザートとしてだけでなく、紹介したレシピのように、様々な料理に取り入れてみても良いでしょう。

何故やせぬ
夏バテのはず
これいかに



リハビリを
がんばり続け
良い経過



一日も
早く治れと
流す汗



流れ星
こうべをたれて
願うなり



明けやらぬ
空に光を
探しつつ



朝露に
光り輝く
願いかな



温もり
一言により
梅雨上がり



連載 病院川柳
「十七文字メッセージ」

看護部長のひと言

自然の中に、生活の中に、大切な命の一日一日の歩みを感じます。

お知らせ

富山市民病院 外来診療の受付時間のご案内

午前(診療は9時からになります)

診療科	月	火	水	木	金
各科(下記以外)	初診8:30~11:30 再診(予約)8:30~11:30				
精神・神経科	初診8:30~11:30 再診(予約)8:30~11:30		8:30~11:30 (アルコール外来のみ予約)		初診8:30~11:30 再診(予約)8:30~11:30
精神デイケア科	再診 8:30~11:30				
整形外科・関節再建外科	8:30~11:30(予約)				
小児外科	初診8:30~11:30 再診(予約)8:30~11:30		初診・再診(予約) 8:30~10:30		初診8:30~11:30 再診(予約)8:30~11:30
放射線科	再診(予約) 8:30~11:30	初診, 再診(予約) 8:30~11:30	再診(予約) 8:30~11:30	初診, 再診(予約) 8:30~11:30	再診(予約) 8:30~11:30
麻酔科	8:30~11:30 (頭痛外来のみ予約)				

午後

診療科	月	火	水	木	金
	再診(予約)1:00~3:30				
内科	アスベスト外来(予約) 1:00~2:00	禁煙外来(予約) 1:00~2:00		禁煙外来(予約) アスベスト外来(予約) 1:00~2:00	
精神・神経科	再診(予約)2:00~3:30		再診・アルコール外来再診 (予約)2:00~3:30		再診(予約) 2:00~3:30
胸部血管外科		検査(予約) 1:00~3:00		検査(予約) 1:00~3:00	
小児科	循環器外来(予約) 1:30~3:00 乳児検診(予約) 予防接種(予約) 1:30~3:30	アレルギー外来 (隔週・予約) 1:30~4:00	血液・アレルギー(予約) 1:30~4:00	循環器外来(予約) 第2・4週1:30~3:00 神経外来(予約) 第2週11:00~4:00 第3週1:30~4:00 第4週10:00~4:00	乳児検診(予約) 予防接種(予約) 1:30~3:30
外科	漢方外来(予約) 2:00~4:00	肛門外来(予約) 1:30~3:30		乳腺外来(予約) 1:00~4:00	
整形外科・ 関節再建外科	検査(予約) 1:00~3:00				
形成外科	外来手術(予約) 1:00~3:00		外来手術(予約) 1:00~3:00		外来手術(予約) 1:00~3:00
小児外科	検査(予約) 1:00~4:00				検査(予約) 1:00~4:00
皮膚科	再診(予約) 2:00~3:00	アトピー外来(予約) 2:00~4:00		再診(予約) 2:00~3:00	
泌尿器科		検査・結石破碎治療 (予約) 1:00~4:00		検査・結石破碎治療 (予約) 1:00~4:00	
産婦人科	1ヶ月検診・検査 (予約) 1:00~4:00		女性専用外来 (予約) 2:00~4:30		1ヶ月検診・検査 (予約) 1:00~4:00
眼科	検査・処置(予約) 2:00~4:00		検査・処置(予約) 2:00~4:00		検査・処置(予約) 2:00~4:00
耳鼻咽喉科				学生外来(予約) 4:00~4:30	
リハビリテーション科	リハビリ(予約) 1:00~3:00				
放射線科	検査(予約) 1:00~4:00		検査(予約) 1:00~4:00	乳房超音波(予約) 1:00~2:00 検査(予約)1:00~4:00	
歯科口腔外科	検査・手術(予約) 1:30~3:00				

連載

診療費の公費助成制度について① (医事課)

「不妊治療費助成制度」

この制度は、体外受精等の不妊治療を受けているご夫婦に対し、治療費の助成を行うもので、富山市と富山県で実施しています。富山市在住の方は富山市の助成制度、富山市以外の県内市町村在住の方は富山県の助成制度が適用となります。制度の内容は右表のとおりです。

申請書、受診証明書は申請窓口、指定医療機関に置いてあります。

なお、指定医療機関については、申請窓口で確認してください。

治療費は、医療機関の窓口で全額を一旦支払っていただきますが、その際の領収書は、申請時に必要となりますので、保管しておいてください。



	富山市助成制度	富山県助成制度
治療内容	体外受精、顕微授精	体外受精、顕微授精
助成対象者	法律上の夫婦 妻が富山市内在住 (居住年数の制限なし)	・法律上の夫婦 ・富山県内に1年以上在住 ・助成対象範囲は治療段階により規定
所得制限	制限なし	制限なし
助成期間	制限なし	制限なし
助成金額	1回15万円を限度に年度2回まで	1回15万円を限度に年度2回まで
指定医療機関	15医療機関(県内14、県外1)	20医療機関(県内14、県外6)
申請・相談窓口	富山市保健所・総合行政センター等	住所地の県厚生センター・支所

申請および相談窓口			
名称	住所	電話番号	管轄市町村
富山市保健所健康課	富山市蛸川459-1	076-428-1153	富山市
中央保健福祉センター	富山市丸の内二丁目8-7	076-422-1172	
南保健福祉センター	富山市蛸川459-1	076-428-1156	
北保健福祉センター	富山市岩瀬文化町23-2	076-426-0050	
大沢野保健福祉センター	富山市高内365	076-467-5812	
大山保健福祉センター	富山市三室荒屋830	076-483-1727	
八尾保健福祉センター	富山市八尾町福島200	076-455-2474	
婦中保健福祉センター	富山市婦中町羽根1105-7	076-469-0770	
山田総合行政センター	富山市山田湯780	076-457-2113	
細入総合行政センター	富山市榆原1088	076-485-9005	
新川厚生センター	黒部市堀切新343	0765-52-1224	黒部市・入善町・朝日町
新川厚生センター魚津支所	魚津市本江1397	0765-24-0357	魚津市
中部厚生センター	上市町横法音寺40	076-472-1234	滑川市・舟橋村・上市町・立山町
高岡厚生センター	高岡市赤祖父211	0766-21-9411	高岡市
高岡厚生センター射水支所	射水市戸破1875-1	0766-56-2666	射水市
高岡厚生センター氷見支所	氷見市幸町34-9	0766-74-1780	氷見市
砺波厚生センター	南砺市高儀147	0763-22-3511	砺波市・南砺市
砺波厚生センター小矢部支所	小矢部市綾子260-1	0766-67-1070	小矢部市

院長への手紙

ご意見

内科検尿トイレ別々にしてください。それに狭い。朝は混雑して大変。

お答え

これまでも検尿トイレにつきましては、多くの苦情・御意見をいただいていた。トイレの改修などを検討してきましたが、構造上困難なことが多く、改修は現時点で行うことが出来ません。

内科スタッフ、看護部などが検討し、6月5日から、女性の方はこれまでどおり検尿トイレにて採尿していただき、男性の方には、大変お手間を取らせて恐縮ですが、1階の一般トイレにて採尿していただくことと致しました。男性の方の検尿・検体は看護師が

検査科に運搬いたします。ご理解と御協力をお願いいたします。

また、7月9日から、外来受付部が改修のために狭くなっています。紹介患者様や医療相談を受けられる皆様への便宜を図るために、地域医療センターを移転改装する工事のため、外来の一部を仕切らせていただいています。それに従い、これまでの院外処方箋受付の場所も変更になりました。工事期間中は狭くなり、また騒音などで皆様にご迷惑をおかけすることになります。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解と御協力をお願いいたします。

YES

NO

「院長への手紙」にて、皆様から頂きましたご意見にお答えいたします。これからも、病院に関しましてご意見を頂きますよう、お願いいたします。皆様からご意見を頂くことによりまして、病院を改善して参りたいと存じます。

イベント

さんぽ図書館利用者5000人達成！

7月2日、2階の検査室の前にあるさんぽ図書館の延べ利用者が5000人に達しました！オープンしたのは平成16年の1月で、患者さまの憩いの場として大いに利用されています。栄えある5000人目の利用者は笠井和美さん。さんぽ図書の利用は2～3回目だそうです。



菊川事務局長から盛り花を受け取る笠井和美さん

です。「照れくさいです。でも選ばれてとっても嬉しいです！」「子供が読めるような漫画がもっと増えるといいですね♪」との感想を頂きました。

さんぽ図書館においてある本は、主に富山市立図書館からのリサイクル本と患者さんや職員から寄贈されたものです。漫画に関しては購入することができないため、全て寄贈してもらった本です。そのため、数は決して多くありませんが、漫画はさんぽ図書館で一番多く利用されています。病気と闘っているときに、ホッと気の休まる漫画はやはり一番人気なのですね。

さんぽ図書館の開館時間は月・水・金（午後2時～4時）。利用できる方は入院患者さんとその家族の方で、1回に5冊まで（漫画は10冊）1週間の貸し出しができるようになっています。これからももっとたくさんの方がさんぽ図書館に気軽に足を運んでいただけるよう、ボランティアの方とともに私たち医療スタッフが努力していきたいと思っております。一度も利用したことがない方もぜひ足を運んでくださいね！

イベント

高校生一日看護見学



7月12日と18日の2日間、富山県看護協会主催の『高校生一日看護見学』を行いました。看護職への進路選択の参考にしてもらうため、県内の高校生（1～3年生）を対象に毎年実施しています。今年度は59名（女子55名・男子4名）が参加し、午前中は病棟の看護業務を見学し、また生徒自身で洗髪や足浴、血圧測定を体験しました。午後は、ICUやNICU、救急、手術室、病棟の看護師と座談会を行い、看護職への理解を深めあっていました。

進路相談・説明を聞いた高校生たちからは、「人の命を守る仕事がどれだけ大変なものか実感した。」「患者様に有難うと言ってもらい嬉しかった。」「体験を終えて看護師になりたい気持ちが強くなった。」などの感想が聞かれ、将来看護師になりたいという若い意欲を頼もしく、また嬉しく思いました。



連載

ボランティア・エッセイ37 病院ボランティア 石森貞夫 『地球温暖化』とは

★ 今世紀、世界が直面している最大の問題は「地球温暖化」で、絶望的な予測をする科学者もいれば、楽観視する学者もいて、環境破壊を各国が協力すれば、世界中の175か国5億人が参加する「アースディ」は、私たちの地球に感謝し、皆さんが呼びかけて実施していますが「地球温暖化」とはなにか。

☆ 20年以上も前に最初に警告した人は、アメリカの大気科学者「ジェームズ・ハンセン」で、1988年に科学雑誌“サイエンス”で発表した「増大する大気二酸化炭素の気象への影響」から、21世紀に予測される地球温度は2.5Cの温度上昇が見込まれ、「人間の経済活動が、地球大気を温暖化させて、人間と自然環境を脅威にする」というもので、地球環境を保つには、エネルギー（石炭、石油の燃焼度合いを減らす）の使用と経済活動を抑制しなければと、地球全体の海面の上昇や安定を警告したものでした。

★ 北極のグリーンランドの氷が溶ける、南極の氷もいっきに溶け、アジア・アフリカ・北アメリカなどの内陸部では、沙漠化が急速に広がる異常気象が、世界各地を襲い「日本沈没」など動植物が次々と絶滅すると、予想されています。やがてハンセンの論文から10年後、国連では最初の「地球サミット」ブラジルを開催、『リオデジャネイロ宣言』を、それから5年後に京都で、気象変動枠組条約を実行するため「京都議定書」が1997年取り決められ、温室効果ガス（二酸化炭素・メタン・亜酸化窒素など）の先進国排出量を、2008～2012年までに、6～8%に引き下げる努力目標が定められたのは、私たちの知るところです。

☆ しかし、世界全体の25%もの温室効果ガスの排出国で、経済大国のアメリカが議定書を拒否、二酸化炭素の排出を抑えるには、企業に多大の設備改善の犠牲を強いられ、エネルギー対策は経済成長度がかなり阻

害されるという理由から、オーストラリア・中国・インド・ブラジルも難色を示し、エネルギー供給が、石炭・石油など化石燃料を使用するため、二酸化炭素の排出量は増大傾向が現実ですね。

★ 日本の対策は十分か、先月NHKで討論会があり、日本の電力事情、火力発電への依存度、原子力エネルギーへの転換や産業界での改善策など話し合いがあり、節減にコストが掛かるが、エネルギーの効率化は、わが国は最高の技術で取り組んでいる現状や、再生可能のエネルギーの努力、バイオマス、風力・太陽光の自然エネルギーの開発など、各国の研究で2020年までに20%削減目標など、先月ドイツの「サミット・温室ガス削減」の合意ができ、さらに来年の『北海道洞爺湖サミット』へと引き継がれ、日本は世界最先端の環境技術を持って、省エネの努力で、青い惑星の地球を守りたいものです。

☆ 気象変動との闘いは、人類の重要な挑戦のひとつであり、自然環境と世界経済に深刻な悪影響を与えるため、地球規模でのエネルギー効率、排出量取引制度、安全保障を含めてイノベーション（技術革新）の促進こそが「地球温暖化」対策の大切なものではないでしょうか。また地球上では、平和のバランスが外交政策および安全保障問題が多くあり、テロ対策・大量破壊兵器・原子力の安全性でコソボ・アフ

リカ・イラン・中東和平・イスラエルとアラブ・パレスチナ・レバノン・イラク・アフガニスタン・北朝鮮など、様々な人種と宗教上の相違から、人類は多くの難題を残しており、人としての命の尊さを、守らねばなりません。

★ 46億年を経た地球の今後の将来は、太陽系の軌道の変化、太陽の放射エネルギーの増減、地球の熱エネルギーの大気変化、人間の排出する二酸化炭素が直接原因となる化石燃料を、他の方法への核融合設備で、地上の太陽を作ることを、人類の将来を託しフランスで始め、月面基地を利用した太陽コントロール構想や、宇宙に向けて太陽系の惑星としての歩みを真剣に、科学者は考えているそうです。

☆ 私達はレジ袋を削減したり、水を節水、エネルギーの自給、100万人のキャンドルナイト、割箸を使わない、ゴミ拾い、電化製品に頼らない、植林をする、未来の子供たちのために自然と共に生きる、省エネに努力、自分の水筒を持ち歩く、紙の節約、食べ残さない、エレベーターよりも階段をなど、環境破壊を無くす努力や、生活習慣を見直して「地球温暖化」対策に、小さな貢献を心がけたいものです。

（資料：『地球温暖化は本当か』矢沢 潔著より）



■今月のふれあいギャラリー(玄関ホール2階)

7月27日から8月17日まで、「北村律子・切り絵とちぎり絵」(北村律子さん)を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。7月9日から展示しておりました朝顔展「マイフェアレディ7」(中村 勇さん)は7月27日で終了しました。有り難うございました。

8月17日からは、竹林益子さんの「第3回竹林押花教室 押花アート展」を予定しています。

読者の皆様も作品を展示してみませんか。また、お知り合いの方々の作品を紹介していただけませんか。ご応募・ご連絡をお待ちしています。



ふれあいギャラリーより(北村律子さん)
上:ちぎり絵 下:切り絵

■今月のイベントと院内の動き

- 7月2日(月):さんぽ図書館の延べ利用者が5000人に達しました!(6ページ参照)
- 7月12日(木)・18日(水):高校生一日看護見学が行われました。(6ページ参照)
- 7月22日(日):東病棟8階の改修工事が終了し、東病棟6階にあった亜急性期病床が東病棟8階に引っ越ししました。8月4日には西病棟3階が東病棟6階に移動し、西病棟の改修工事が始まりました。
- 7月24日(火):新潟中越沖地震に対する医療救護班の出発式が行われました。医師・薬剤師・看護師等6名がチームを組んで、26日まで避難所を巡回し診療を行いました。
- 7月25日(水):参議院議員選挙不在者投票が行われました。約110名の方が投票されました。
- 玄関ロビーの改修工事が行われています。正面玄関右側に地域医療連携室と医療相談室が移設され、9月3日にオープン予定です。市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



医療救護班の出発式

■編集コラム

「21世紀における国民健康づくり運動」は2000年に厚生労働省により始められた第3次国民健康づくり運動のことで、通称健康日本21と呼ばれています。壮年期死亡の減少と健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現し、健やかで豊かに生活できる活力ある社会とすることが目的で、10年後つまり2010年度を目途に健康を実現する具体的な目標を分かりやすく示したものです。

さて、その中間評価がこの4月にまとまったのですが、それにもかかわらず、この間に糖尿病予備群は増加し、壮年の肥満者の増加と運動不足、野菜摂取不足が進行してしまっています。これでは生活習慣病の予防や健康づくりのために何をやってきたのだといわれてもしかたがありません。

内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の概念が急浮上してきたのはそんな背景があるからです。来年から始まる特定健診では、リスク要因のまだ少ない人には生活習慣改善の動機付けを、リスク要因の多い人には医師・保健師・栄養士などが積極的に支援することにより行動変容を促すようプログラムされています。

これからの健康診断は、「病気なのか否か」ではなく、「どのくらい健康なのか」というように、私たち個人の主体的な健康づくりを支援するものへと変わっていくのです。

総編集長:病院長 泉 良平

編集部: 齋藤勝彦・島竹恵美子・石森貞夫
村崎 進・松下桂子・高島裕子・川口 宏

発行:富山市立富山市民病院広報委員会
〒939-8511
富山市今泉北部町2-1

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>

電話 076 (422) 1112
FAX 076 (422) 1371



富山市立 富山市民病院

